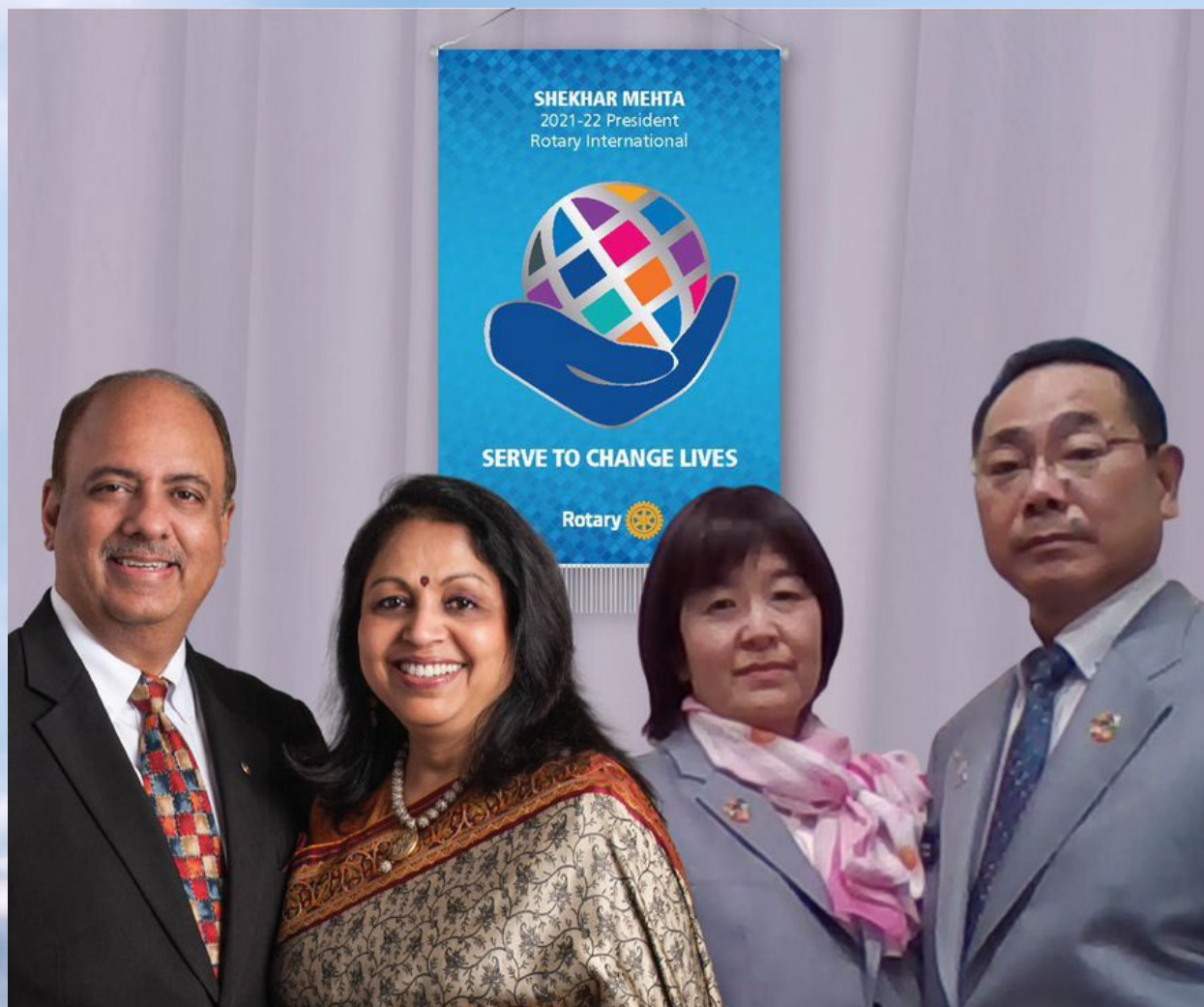


Rotary International District 2830 Governor's Monthly Letter

2021-2022

ガバナー月信 7月号



RI 会長夫妻と成田秀治ガバナー夫妻

目次

- RI 会長メッセージ
- ガバナーメッセージ
- 種差海岸ゴミ拾い活動
- 八戸南ロータリークラブ『よろず相談』
- 地区内クラブ紹介
- コーディネーターNEWS
- ハイライトよねやま
- RI 日本事務局 財団室 NEWS
- 第 50 回ロータリー研究会予告
- 会員動向
- 出席率表
- 地区行事予定 2021 年 7 月・8 月

Let's Enjoy Rotary Life 「ロータリーライフを楽しもう」

国際ロータリー第 2830 地区ガバナー 成田秀治

国際ロータリー第 2830 地区事務所



R | 会長メッセージ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリー会長
シェカール・メータ

(2021-22年度 テーマ講演)

ナマステ。ロータリーの世界各地から集まった「Movers and Shakers」の皆さん、こんにちは。地区ガバナーエレクトである皆さんは Movers(動かす人たち)であり、私は「シェカール」です。

今日、皆さんは、奉仕とリーダーシップの旅路において、とても大切な一步を踏み出します。これからの 17 ヶ月間は、皆さんの人生で最も素晴らしく、実りあるときとなるでしょう。この期間を、人生で最も充実したときとすることができます。この期間には、私たちが共有するロータリーのビジョンに導かれながら、大きな夢に向かってくださるようお願いいたします。皆さんは、計画を立て、目標を定め、その目標を達成するようロータリアンにインスピレーションを与えてやる気を引き出します。その目標とは、会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げるといふ目標、そして、世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらすといふ目標です。この旅路において、皆さんは、地区のロータリアンおよびローターアクターと目標を分かちあい、「もっと行動し、もっと成長する」ための意欲を喚起するという大きな役割を担います。これは、私たちに導く信念です。「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることの意味します。

会員増強は引き続き、最も大きな課題です。過去 17 年以上、ロータリーの会員数は 120 万人のまま横ばいとなっています。力を合わせて、これからの 17 ヶ月間でこれを変えようではありませんか。変革者であるガバナーの皆さんには、会員増強という点で、今、ロータリー史上最大の変革をもたらす機会が訪れています。過去 17 年間にロータリーが達成できなかったことを、今後 17 ヶ月間に達成することにチャレンジしてください。

そんな夢は大きすぎる、とおっしゃるかもしれません。「夢は大きく」と私からお願いするのであれば、私自身が先頭に立たなければなりません。私がインスピレーションを受けた言葉の一つに、ジョージ・バーナード・ショーの次の言葉があります。「存在するものだけを見て、『なぜそうなのか』と考える人もいる。しかし私は、いまだかつて存在しないものを夢見て、『なぜそうでないのか』と考える」

ですから皆さん、夢は、2022 年 7 月 1 日までに会員数を 130 万人に増やすことです。この信

じられないような目標をどのように達成できるでしょうか。その答えは、「each one,bring one」、つまり、今後17ヵ月間に各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いすることです。皆さんがすべきことは、17ヵ月間にたった一人を入会させるよう、地区のすべてのロータリアンをお願いするだけです。皆さんご自身が模範を示し、また地区内のクラブ会長にも模範を示してもらうことで、これを確実にできます。全クラブのロータリアンがこれを実行すれば、そのそれぞれが「変革者」となり、新たにロータリアンとなる人の人生を永遠に変えることになるのです。

ガバナーエレクトの皆さん、私たちは、「もっと行動する」ために「もっと成長する」必要があります。私は常に、「超我の奉仕」というロータリーの標語に大きな感銘を受けてきました。この言葉は、人びとを思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。私にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。これについて、ロータリーでの私自身の体験をご紹介しますと思います。

ロータリークラブに入会したばかりの頃、手足が不自由な人のためのキャンプをクラブが実施しました。クラブはそこで、足の矯正具や義肢、ハンドサイクルを配布しました。全会員が役割を分担し、私の担当は、ハンドサイクルを受け取る人が、手で車輪をこぐ力があるかどうかを確認することでした。手を引っ張ってもらい、相手の力を測るのです。私は、担当場所に立ち、ハンドサイクルを受け取りに来る人を待っていました。すると、ある人が地を這って私に近づいてきました。その人は足がなく、這うことしかできなかったのです。私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人2、3人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しかし、6、7人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。

その後間もなく、もっと多くのプロジェクトに参加するようになりました。35年前、ロータリアンとして初めてインドの僻村に足を運んだとき、同胞たちが抱える苦境を真に理解しました。彼らの家にはトイレがなく、水浴びをするのと同じ池の水を飲み、一本の樹の木陰を学校として使い、唯一の黒板は黒いペンキを塗った壁でした。一番近い保健センターは数マイル先で、ごく基本的な設備しかありません。私たちは、ロータリークラブを通じて、トイレを設置し、安全な飲み水を提供し、教育システムを改善し、世界級の医療設備を整えました。しかも、地元地域だけでなく、国中で。

ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました。奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、「奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」という信条を持つようになりました。模範的な賃借人でありたいと思っています。皆さんも、それぞれが奉仕の機会を見出されたことでしょうか。目の不自由な人に見る力を与え、お腹を空かせた人に食べ物を与え、ホームレスの人に住む場所を提供した方もおられるでしょう。これらは、小さな奉仕の機会だったかもしれませぬし、大規模なプロジェクトだったかもしれませぬ。奉仕を定義するの

は、奉仕の規模だけでなく、奉仕に対する姿勢です。

ガンディーはかつて、電車に乗ろうとしたときに、電車が動きだして片方のスリッパを落としてしまいました。ガンディーはとっさに、スリッパが落ちたところをめがけて、もう片方のスリッパを投げました。彼と一緒に旅行していた友人は、こう尋ねました。「なぜ投げたんだい?」。ガンディーはこう答えました。「あのスリッパを誰かが見つけるだろう。片方だけでは役に立たないから、もう片方も投げたのだよ」。これはささやかな奉仕の行為ですが、その姿勢は見事だと思います。私たちは、自分よりも先に人のことを考える心構えがあるでしょうか。ロータリアンである私たちにとって大切なのは、それだけです。

ロータリアンが過去 35 年間にポリオ根絶や人類への奉仕のために数十億ドルもの資金や多大なボランティア時間を費やしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。何千という学校や何百という病院を整え、干上がった村に水を提供し、家庭にトイレをつくって尊厳を取り戻し、何万という子どもの心臓手術を通じて命という贈り物をしてきた理由に、それ以外のことがあるでしょうか。ロータリアンが奉仕し続けるのは、人びとの人生を豊かにしたいという願いからです。ネパールでのあるプロジェクトでは、数千人もの人生がより豊かになり、アフリカでの家族保健プログラムと、ハイチでの水プロジェクトでは、それぞれ一千万人以上の人生がより豊かになりました。私の母国インドでは、識字と教育の T-E-A-C-H プログラムで、何百万もの子どもの人生にインパクトを与えました。

皆さんの多くが、このような奉仕プロジェクトで大切な役割を担われ、人びとの人生をより豊かにしてきたでしょう。奉仕のニーズがあるからこそ、皆さんは奉仕してこられたのです。今日、奉仕のニーズはさらに高まり、明白になっています。ですから、変革者であるガバナーの皆さん、来るロータリー年度には、人びとのために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いいたします。この理由から、2021-22 年度の私たちのテーマは、「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)といたします。

皆さんご自身が模範を示し、持続的なインパクトをもたらすプロジェクトへのロータリアンとローターアクターの参加意欲を引き出してください。ほかのロータリアンや、他団体、企業と手を取り合い、地域社会にインパクトをもたらすプロジェクト、国や世界の人びとの人生を豊かにするプロジェクトを実施してください。ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもっとよくなったと感じるはずですよ。

奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。インドの偉大な思想家の一人であるヴィヴェーカーナンダは、こう言いました。「誰かを助けるとき、その人に恩を施していると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から授かった恩恵への恩返しをする機会を与えてくれているのです」。ヴィヴェーカーナンダはさらに、次のような見事な言葉を加えました。「人生では、与える者、奉仕する者になりなさい。ただし、与えるときも奉仕するときも謙虚になり、ひざまずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただきますか』とお願いする気持ちになりなさい」ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人

生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。

奉仕イニシアチブに取りかかるにあたり、次年度の焦点は「女子のエンパワメント」となります。ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーのDEI(多様性、公平さ、開放性)に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます。

「もっと行動し、もっと成長する」ための会長イニシアチブが計画されています。世界各地で、7つの重点分野に焦点を当てた7回の会長主催会議が開催されます。また、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブが、ロータリアンとローターアクター、そして一般市民の参加を促すための「ロータリー奉仕デー」を実施することができます。ご自宅に最も近い場所で開催される会長主催会議にご参加いただくとともに、「ロータリー奉仕デー」に参加するよう全クラブに呼びかけてください。ローターアクターとインターアクターにも参加してもらいましょう。ロータリークラブによる何千もの「ロータリー奉仕デー」を通じて、ロータリーの活動を世界に紹介しようではありませんか。

変革者であるガバナーの皆さん、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、大きなインパクトをもたらすプロジェクトに取り組み、かつ会員数を史上初めて130万人にするという課題は、チャレンジに満ちています。このチャレンジに、皆さんの意欲は駆り立てられるでしょう。挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです。船は港にいれば安全ですが、船の目的は港にいないことではありません。海に出てこそ、船の目的が成就されます。変革者の皆さん、人生とは冒険であり、メンテナンスではありません。

最後に、テーマについて私が書いた詩をご紹介します。

授けられた最大の贈り物は誰かの人生に触れる力
変える力
違いをもたらす力
めぐりゆく命の中で手を、心を、魂を差し伸べるなら魔法が起こる
歯車が回りだす…
ともに歯車を回そう
全人類の繁栄のために
私たちには力と魔法がある
奉仕しよう…みんなの人生を豊かにするために…

皆さんがどこでこの演説をお聞きになっても、ここで皆さんに、胸に手を当て、私と一緒に宣誓していただきたいと思います。

「私たちには、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」

変革者の皆さん、準備は整っていますか?大きなチャレンジに立ち向かう準備ができていますか?奉仕する準備ができていますか?みんなの人生を豊かにする準備ができていますか?私は準備ができています。皆さんも同じでしょう。ともに奉仕し、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。

2021-22 年度RI会長プロフィール

シェカール・メータ

インド(西ベンガル州)

Calcutta-Mahanagar ロータリークラブ所属



1984年にロータリークラブ入会。RI 理事、各種委員会の委員と委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門家グループメンバー、地区ガバナーを歴任。ロータリー財団(インド)の理事長も務める。

超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞。

ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

会計士であり、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長。

カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクター。

災害救援に熱心に携わり、シェルターボックス(英国)の管理委員も務める。2004年のインド洋大津波の際には、被災した家族のために500戸近い家屋の建築を支援。

南アジアで1,500件以上の心臓外科手術を行ったプログラムを立ち上げる。インド全土での識字率向上をはかる「TEACHプログラム」の創設にもかわり、このプログラムを通じて何千もの学校に支援を提供。

ガバナーメッセージ



Let's Enjoy Rotary Life 「ロータリーライフを楽しもう」

国際ロータリー第2830地区

2021-22 年度ガバナー **成田 秀治**

2021-22 年度ガバナーを仰せつかった、五所川原イヴニングロータリークラブの成田秀治です。7月1日よりロータリーの新年度がスタートしました。

まずは、源新和彦直前ガバナーの1年間のご苦勞とご活躍に対して心より敬意と感謝を申し上げます。新型コロナウイルスの感染により、行動や集会が制限され、困難を感じたことと思いますが、地区スローガンの「信じ合おう」は、地区内のロータリアンひとり一人が信じ合うことの大切さを改めて問いかけられた事と思います。今後は、パストガバナーとして私どもに対して引き続きご指導ご助言を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて、2021-22 年度 R I 会長テーマは「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives) です。ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。奉仕は誰かの人生ではなく、自分の人生も豊かにすると力説されました。奉仕のニーズはさらに高まった今日、人々のために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助しようということです。

R I 会長テーマを受けて、今年度の地区スローガンは「ロータリーライフを楽しもう」(Let's Enjoy Rotary Life) にしました。

奉仕するにも、誰かの人生を豊かにするにも、自分の人生を豊かにするにも、会員を増し、参加者の基盤を広げるにしても、まずは自分自身でロータリーを楽しまなければ、すべてが始まりません。自分でロータリー人生を楽しんでいれば、きっと相手にロータリーのすばらしさが伝わると信じています。皆さんと共に「ロータリーライフを楽しもう」と思っています。

SERVE TO CHANGE LIVES



**奉仕しようみんなの
人生を豊かにするために**

《地区目標》

- 1.公共イメージ向上（テレビCM、SNSの活用）
- 2.退会防止と会員増強（ひとりが一人に声を掛ける）
- 3.「ロータリー奉仕デー」・「世界ポリオデー」イベントの実施
- 4.新クラブの設立(衛星クラブ、ハイブリッドクラブ、活動分野に基づくクラブ)
- 5.ローターアクトクラブ（6クラブ）の会員増強
- 6.デジタル化への対応（My rotary 登録率 70%）
- 7.ロータリー賞への挑戦（10クラブ以上）ロータリークラブ・セントラルから自己報告方式
- 8.財団寄付：年次基金 150 ドル/人，ポリオプラス 30 ドル/人（寄付ゼロクラブゼロ）
- 9.米山記念奨学会寄付：特別寄付 1 万円/人，普通寄付 3 千円/人（寄付ゼロクラブゼロ）

公式訪問は、7月13日の八戸北ロータリークラブからスタートして、10月14日の五所川原イヴニングロータリークラブまで地区40クラブにお伺いします。

基本的には対面式での訪問といたしますので、9月30日まではクールビズで伺います。会員の皆様もクールビズでの対応をお願い致します。なお、公式訪問をオンラインで希望される場合には事前にお知らせ下さい。

クラブ会長始め会員の皆さんにお会いすることを楽しみにしています。皆さんと共に行動し、ロータリーライフを楽しみたいと思っていますので、これからの1年間ご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

種差海岸ゴミ拾い活動

社会奉仕・職業奉仕委員会 委員長 花田 勝彦

2021年6月5日国立公園種差海岸で、地区内ロータリアンとローターアクト20名が集まり、海岸の清掃活動を行いました。主に八戸地区のロータリアンの皆様には、ご参加いただき、この場合を借りて感謝申し上げます。

今回の活動は、源新年度の地区社会奉仕・職業奉仕委員会の重点目標として掲げられた「若年層にインパクトを与える活動の支援」を実現するためでした。

今年の1月から、地区内6つのローターアクトのメンバーと、主にZOOMとLINEでどのような活動をどのように行うのかについて、何度も打合せを重ねてきました。

東日本大震災10年の節目ということで、種差海岸での清掃活動を中核としたプランは早い段階からイメージできていましたが、春先からの地区内の新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、一度予定していたスケジュールの変更や、活動の縮小を余儀なくされました。職場や大学のサークル活動の制約から、当日参加できないローターアクトが多数いたのは残念なことでした。

それでもローターアクトのメンバーが主体的に活動を計画して、おそろいのcoolなウインドブレーカーを作ったり、ゴミ拾いをチーム対抗戦にするなど、それぞれが活動を楽しみながら準備を進めることができました。

また、当日は、屋外での活動ゆえ、感染対策は比較的容易で、しっかり行うことができました。

3チームに分かれて約1時間半実施したゴミ拾いの成果は、何と27kg!

清々しい初夏の午前中、ローターアクト達と一緒に活動したことは、ロータリアンにとっても大変有意義で刺激を受けたと思います。



八戸南ロータリークラブ『よろず相談』

八戸南ロータリークラブ

職業奉仕委員長 伊藤 斉

よろず相談は八戸南ロータリークラブ第20代橋本精二会長年度に大澤会員の発案で始まり、以来八戸南ロータリークラブの奉仕活動の要として継続し先日「第27回よろず相談」を無事開催終了いたしました。

よろず相談とは読んで字のごとく様々な相談事を承るといふことで、様々な職業人の集まりである我々ロータリークラブの特性を活かし八戸市民の悩み事にこたえております。ポスターやチラシのほかに八戸市の広報や新聞(デーリー東北)、地元のラジオ(Be FM)などの告知を行い、当日は新聞社に取材に来てもらい活動内容を新聞紙面に掲載していただいております。

相談事は多岐にわたり法律相談、医療相談、税務相談、人生相談など等様々ですが、それぞれその分野の専門家である会員が丁寧に対応しています。もちろん無料です。

始めたころはこのような事業は他ではほとんどありませんでしたが、最近では色々な所で悩み事相談を受ける場が増え相談件数も少なくなってきた我々の使命も終わったのかと思つた時期もありましたが、毎年10数件の相談者が途切れることはなく、必要とされている限り続けていきたいと思っています。

市民の悩み事や疑問などにアドバイスした、よろず相談



法律から健康まで幅広くアドバイス
八戸南ロータリークラブ(松田義武会長)は5日、八戸パークホテルで、市民からの法律相談などに無料で応じる「よろず相談」を開いた。同クラブに所属する各分野の専門家が、市民の悩み事や疑問にアドバイスした。

八戸

奉仕活動の一環で毎年開いており、今年で27回目。弁護士や医師、税理士ら会員約10人が、相続などの権利関係、税金相談、健康問題といった幅広い相談を受け付け、プライベートに配慮しながら丁寧に答えていた。松田会長は「1人では解決できない悩みを相談して安心して帰ってほしい。これからも継続していく」と話した。

(柴田佳弥)



ラジオ『Be FM』で告知を行いました

2021年6月12日

『デーリー東北』朝刊

『愛宕公園 時計台贈呈式』を行いました

野辺地ロータリークラブ

2020-21 年度会長 須藤 朗

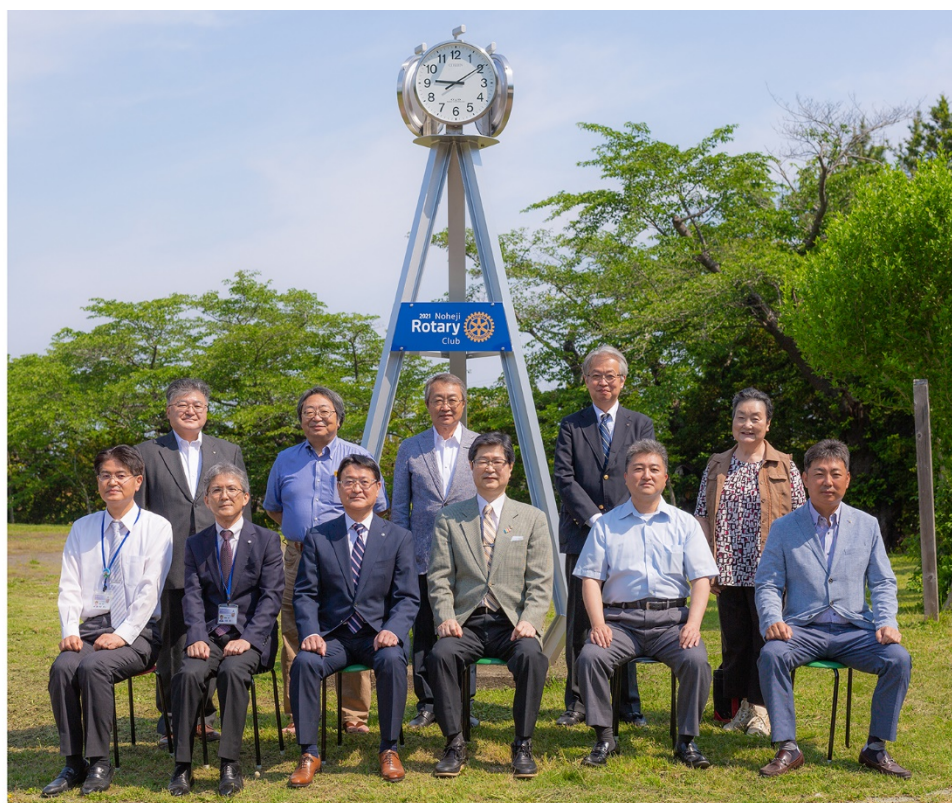
この時計台は、野辺地ロータリークラブが1995年（平成7年）に創立30周年を迎えた時にその記念事業の一つとしてこの時計台を寄贈したものでした。

以来26年の月日が経過し、劣化が激しくなってサビがひどくなったり、時計の下部に穴が開いたりしていました。時刻は正確に刻んではいましたが、いずれ近いうちにダメになるだろうという感じになっておりました。寄贈したものとはいえ、どうしたものかと気になっておりました。ロータリークラブの看板も付いていることなので、再生したいと思ひ会員の皆さんにお諮りしましたところ「再生しましょう」「やりましょう」ということになりまして、このような運びとなった次第です。

今後は、愛宕公園とこの時計台が「町民憩いの場」として末永く愛され、また気持ちよく利用されることが私たちの望むところであります。



野辺地ロータリークラブ
令和三年六月十一日





コーディネーター 2021年7月号 No.1
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2019-22年度第一地域RCの菅原裕典です。

いよいよ2021-22年度がスタートしました。各地区ガバナーの皆さん、クラブ会長はじめロータリアンの皆さん、今年もよろしくお祈りします。

昨年1年間は、ご承知の通り世界が「COVID-19」一色に染められたと言っても過言ではありませんが、様々な制約下にあっても、ロータリアンはクラブの運営と活動に最大限の取り組みをして、素晴らしい結果をもたらし、日本のロータリー100周年に相応しい年度だったと考えております。

さて、そうした中で今後更なる発展をしていくにあたっては、皆さんの地区、クラブの戦略計画は十分でしょうか？計画についてはガバナー、そしてクラブの会長が中心になり、それぞれの地区や地域に相応しい内容になっているものと拝察します。次は計画を如何に実行するかが肝要になりますが、取り組みには修正も必要です。その為には内部の方から定期的に意見を聞き、実行と同時に間断なく状況確認を行うことが大切です。また、外部の力を必要とするときには是非、我々地域コーディネーターをフルに活用してください。特に、戦略計画・会員増強についてはロータリーコーディネーター（RC）が数多くのアドバイスができるものと確信しています。とりわけ、今年度のシェカール・メータRI会長は、会員増強にとっても積極的な姿勢です。我々も目標の数値を達成し、未来のロータリーに継続していきたく強く願っています。

先日、ローターアクターの方とお話する機会がありました。私がロータアクトの会員の女性と男性の比率はと尋ねたところ、おひとりの方のクラブは5対5、もうお一人の方のクラブは6対4だとの事でした。「何故、ローターアクターは女性会員の比率が高いのですか？」とお聞きしたら、「女性はボランティアをたくて入会しており、男性は多くの友人を作り、交流をたくて入会している」という返答でした。もちろん、男女共通の目的もあるでしょうし、多様性もあるかとは思いますが、しかし、この差異はある意味核心を突いているかもしれません。例えばこのような視点やヒントが身近に数多くあるにもかかわらず、そこに着目せず、結果、現状認識が不十分だという状況なのかもしれません。

また、ローターアクターの方々とロータリアンには若干の距離感が存在している場合があります。ロータリークラブでも今一度視点を変えて考えなければいけないこともあるかもしれません。時代の変化で価値観も変わりますし、地域の特性もあれば、会員構成の内容も異なります。今一度、現状認識を重視し、その年度や地域に相応しい地区・クラブ運営をしていこうではありませんか。

私たちRCは、第一地域・第二地域・第三地域の各地域にRC1名・ARC3名の4名体制で地域のお手伝いをさせていただきます。是非、直接ご連絡を頂き、協力をさせていただければ幸いです。

第一地域RC菅原裕典・ARC田中久夫・ARC福井敬悟・ARC石黒秀司

第二地域RC水野功・ARC神野重行・ARC松坂順一・ARC関邦則

第三地域RC滝澤功治・ARC中川基成・ARC庄司尚史・ARC安増惇夫

第1地域 ロータリーコーディネーター 菅原 裕典（仙台泉RC）



ロータリー NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

ロータリーのロゴの正しい使用方法を学んで下さい。

皆さんはロータリーのロゴという言葉が聞かれて、どのようなロゴを想像しますか？ブルーの文字でRotaryと書いて有り、隣に誇りのシンボルと呼んでいる歯車が黄色で描かれているロゴが頭に浮かんで来るでしょうか？

強固なブランドを築くには、一貫したビジュアルアイデンティティが欠かせません。これは私達がロータリーのロゴを正しく使うことによって実現されます。統一感のあるブランドを世の中の人々に示し、ロータリーとローターアクトに対する人びとの認識と理解を高めるようにして下さい。ロゴの使い方の詳細は、My ROTARYにログインして、<ニュース&メディア>を選び、<ブランドリソースセンター>をご覧になることをお勧めします。ロゴの使い方はデザイナー、印刷屋さんなどロータリアン以外の人々にも解るように、ブランドリソースセンターへのアクセスは、brandcenter.rotary.org/ja-JPからも行えます。

まず、ロゴはデザインであり一つの塊として使うものであると理解して頂くようお願いいたします。フォント、色使い、配置なども細かく規定されています。これらの取り扱いについてはデザイナー、印刷さんが良くご存知です。自分達でロゴを分解して使うことは厳禁です。時々、歯車のマークを分解したり、歯車の中心に番号を入れたりして使っているのを見かけます。これらは、やってはいけないことです。7月から新年度が始まります。慣れない委員の方々が良かれと思って、歯車の中にクラブ名や地区番号などを入れて使う事が有ります。注意してチェックをお願いします。

また、RIはクラブ、地区、ゾーンがロータリー公式ロゴを単体で使用する事は認めていません。この事は多くの方が忘れています。クラブ、地区、ゾーンでロータリーのロゴを使用する場合、ロータリー公式ロゴにクラブ名または地区番号、ゾーン番号を必ず入れるようにお願いします。複数の地区やゾーンの番号を入れることもできます。公式ロゴの上または下に、クラブ名、地区番号、ゾーン番号以外の言葉を入れることはできません。クラブ用、地区用、ゾーン用のロゴは、ブランドリソースセンターにあるテンプレートを使って作成できることを覚えておくと便利です。

協力団体、スポンサー、イベントとロゴと一緒に使いたい場合には組み合わせロゴが使用できます。組み合わせロゴを使う場合の規則もブランドリソースセンターで説明しています。

RLI（ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート）は、ロゴの中心に歯車のマークを入れていました。皆様方の中にも、RLIの全課程を履修して終了の証としてロゴバッチを贈られた方がおられると思います。RLIもRIから勧告を受けて、ロゴの中心を地球のマークに変更しています。

また、米山記念奨学会も、RIの規程に則りロゴの見直しを実施しています。

皆様方におかれても、新年度のスタートに当たり、地区やクラブで使われていたロゴの見直しをされることをお勧めします。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心RC）



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

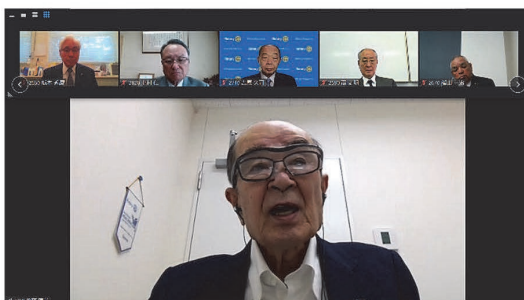
Vol.255

2021年6月14日
発行

1. 理事会開催報告 — 2022 学年度は 880 人採用 —

6月3日、全国の理事30人、監事3人が出席し、第29回理事会がオンライン会議（zoom）で開催されました。昨年はコロナ禍の中、例年6月・8月に開催している理事会はどちらも書面決議となりましたが、それから1年が経過し、オンライン上とは言え、全国の理事・監事が一堂に会して協議する、理事会本来の姿を取り戻すことができました。

今回の理事会では、議長の齋藤直美理事長の



進行の下、主な議案として、2022学年度奨学生採用数の件、2022学年度募集要項の件、2021年度事業計画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説

明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2022学年度の奨学生採用数は、前年度比10人（枠）減の880人（枠）とすることが決定しました。

2. 第4代よねやま親善大使に委嘱状を伝達

6月3日の理事会開始前に、全国の理事・監事が見守る中、第4代よねやま親善大使への委嘱状伝達式が行なわれました。これは本来、昨年6月の理事会と合わせて行われるはずでした



が、コロナ禍のため延期になっていたものです。

緊急事態宣言下のため、残念ながら、大阪在住のウォーターズ・カレン・ジュリアさんとアドゥアヨム アヘゴ、アクエテレビさんはzoomでの参加となり、東京在住の李昱昊さんのみ、来場参加となりました。相澤光春広報担当理事の司会進行で、よねやま親善大使から一人ずつ、自己紹介と抱負が述べられました。続いて、理事長の名代として水野功副理事長が委嘱状を代読し、親善大使を代表して李さんに委嘱状を授与。全国の理事・監事から温かな拍手が送られました。締めくくりに、齋藤理事長から「もうあと半年くらいでもっと自由に動けるようになるはず。皆さんには、よねやま親善大使としての任務を立派に遂行していただきたい」と激励のメッセージが送られました。

3. 寄付金速報 — 今年度は30日着金分まで —

5月までの寄付金は、前年同期と比べて0.9%増（普通寄付金：0.3%減、特別寄付金：1.6%増）、約1,200万円の増加となりました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。昨年7月から5月までの寄付累計額12億3,700万円は、2009～13年度の同時期よりも上回っており、少しずつ

つ、コロナ前の状況に戻りつつある兆しが伺われます。

今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、**6月30日（水）までに当会の銀行口座に入金記帳された分まで**となります。ご送金の際には、日程に余裕をもってお送り下さい。

4. タイ米山学友会が総会を開催

5月15日、タイ米山学友会の総会がオンラインで開催されました。タイ出身学友のほか、タイおよび日本在住のロータリアン、日本・台湾・韓国の学友会会長・役員など、総勢60人が参加する盛会となりました。



総会では、当会の齋藤直美理事長、柚木裕子事務局長からのメッセージ動画に続き、来賓ロータリアンから祝辞が述べられました。また、これまでに実施した多様な活動についての報告

と、それぞれ関わったロータリアンからのメッセージが動画で紹介され、オンラインならではの工夫が凝らされていました。タイ米山学友会は、Participation（参加）と Kakehashi（懸け橋）をテーマに、今後も前進していくと、ワシン会長

は力強く述べ、最後に、加古川RCの保地富夫会員の挨拶で閉会となりました。2022年は創立10周年を迎えるタイ米山学友会。笑顔で再会し、共に祝う日が来ることを願っています。

5. 奨学生の安全を願って自転車をプレゼント！

第2540地区（秋田県）本荘RCが、6月4日の例会で奨学生の葛^{カツエイゴフ}睿剛さんへ自転車をプレゼントしました。

きっかけは、ある会員が偶然、町で自転車に乗る葛さんを見かけたこと。前カゴが壊れ、ハンドルにビニール袋をぶら下げてフラフラと走行する様子に、「あれでは心配だから皆で新しい自転車をプレゼントをしよう」と、会員に呼びかけました。葛さんを驚かせたいと、購入した自転車を前日のうちに例会場へ運び入れ、皆が見守るなかサプライズでの贈呈。葛さんはこの時を振り返り、次のように語っています。「大学まで徒歩30分以上掛かる私にとって、自転車は

必需品です。これまで先輩から譲り受けた自転車で大学や例会に通っていましたが、少々不自由なところもありました。新しい自転車は、素敵な色で変速もできて乗り心地が良く、何より皆さんの気持ちに感動しました！米山奨学生であること、そして秋田に留学できたことが本当に光栄です。これからもロータリーの精神を学び、自分も人を助ける人間になりたいと思っています」。



6. 博士号取得状況

2020学年度に博士号を取得した奨学生・学友は63人、これまでの累計は3,849人となりました（6月11日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。従来品の製造終了に伴い、7月以降の申請から新しい腕時計となります。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281 / email:scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

時計が新しくなります



文字盤の裏に氏名を刻印



お知らせ

新たにロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金／大口寄付アドバイザー、ポリオ根絶コーディネーターに就任される皆様です。

第2地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA) 杉岡 芳樹

2021-24年度第2地域恒久基金／大口寄付アドバイザー (E/MGA) を、野口英一氏の後任として担当することになりました

2019-20年度は第2780地区ガバナーを務めさせていただきました。

就任前の今年5月にエバンストンでの研修予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの研修になりました。残念ではありましたが、4月末よりのオンライン研修では、本会議、セッションと国際協議会を思い出し、しっかりと研修をさせていただきました。また、他国の地域リーダーとの研修もあり、楽しい時間を過ごさせていただきました。

与えられた3年間において、RRFCをはじめ他の地域リーダーとの協力のもと、恒久基金をはじめ寄付増進をすすめます。よろしくお願ひいたします。



第2地域 ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) 伊藤 雅基

2021年度より宮坂宥洪様の後任として第2地域のポリオ根絶コーディネーター (EPNC) を拝命いたしました駒ヶ根ロータリークラブのバスターガバナー伊藤雅基でございます。

2020年8月にはアフリカの野生型ポリオ根絶宣言がなされ、国際ロータリーの最優先事項でありますポリオ根絶まであと少しと言われますが、まだまだ予防接種や環境・状況管理では多くの資金が必要です。COVID-19の感染拡大により、多くのロータリー活動におきましても行動や開催方法が制限されておりますが、引き続き啓発活動、ご寄付などのご支援を宜しくお願ひ申し上げます。



[My ROTARY RILEート](#) [寄付送金明細書](#) [寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2021年6月22日現在
アメリカ	\$ 179,228,718
韓国	\$ 22,499,728
日本	\$ 16,302,505

日本の状況

冠名基金数	217
AKS会員数	49
PHS会員数	1088

2021-22年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億2,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル (ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:9,500万ドル (2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,000万ドル (グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- ・各地区がDDFを使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)
永田 壮一

2021年7月から第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)を務めます、2720地区パストガバナーの永田壮一と申します。前任の田村泰三パストガバナーのあとを継いで、第3地域のロータリー財団活動がスムーズに行えるよう注力して参ります。さて、4月19日から5月7日までオンラインで行われたRLGIで多くの知見を得てRRFCの役割を再確認いたしました。第3地域には11の地区がありそれぞれの地区が特徴的なロータリー財団活動を行なっています。その活動が益々活性化するような研修を企画し、地区の皆様が財団に対する意欲を高められるよう、3名のロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)の皆さんと共に活動して参ります。まだまだ浅学非才ではありますが宜しくお願い致します。



第3地域 ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)
前田 直俊

今年度より第3地域のポリオ根絶コーディネーター(EPNC)を抑せつかった坂出東ロータリークラブ・坂出東四国ロータリーサテライトクラブ議長の前田直俊です。EPNCはEnd Polio Now Coordinatorの事ですが、気持ちはEP New Coordinator(造語)としてEP New Normal Condition(造語)を子どもから介護老人まで幅広く伝えたいと思っています。各地区の世界ポリオデーの活動状況を含むポリオ根絶への取り組みを応援し、現金寄付(1人30ドル)とDDF寄贈(20%以上)の目標に近づくように依頼します。皆さんの気持ちに期待しています！



お知らせ

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての[最新情報](#)や、ロータリーの資金が提供される「[不可欠な旅行](#)」の再開についてもご確認ください。

【会員がスキルを生かして新型コロナワクチン接種を援助】

リカルド・デ・パオラさんは、イタリアにおける新型コロナワクチンの供給増加に伴い、予防接種会場での接種活動とスタッフ管理を求める多くの声がかかることを見越していました。彼はベロナ地域で働く医長たちと連絡をとり、クラブがどのように支援できるか聞き取りを始め、政府パートナーとなれるボランティアの動員に取りかかりました。続きは[こちら](#)

【集団免疫とは？】

公衆衛生用語である「集団免疫」とは、人口の十分な割合が免疫をもつことで、人から人へのウイルス感染が抑止される状態を意味します。[こちら](#)をご覧ください。

【予防接種はなぜ大切なのか】

各地のロータリークラブは、数十年にわたってポリオ予防接種を支援してきた経験を生かして、新型コロナワクチンへの人びとの信頼を高め、ワクチンの公平な配布に取り組んでいます。

[こちら](#)をご覧ください。



財団室NEWS7月号

【2回目となったバーチャル国際大会でポリオ根絶やコロナ禍終息への進展にハイライト】

6月12～16日に開催されたロータリーバーチャル国際大会は今年2回目の開催となり、何千人もの参加者がオンラインで友情を築き、楽しいひと時を過ごしました。今回のバーチャル国際大会は、新型コロナウイルスの世界的流行のために台北(台湾)での対面式の国際大会が中止となったことを受けてオンラインで開催されました。

20人以上の講演者、情報豊かでインスピレーションあふれる分科会、インタラクティブな友愛の家やさまざまなバーチャルのアクティビティやエンターテインメントが含まれたバーチャル国際大会には、約10,000人が登録しました。続きは[こちら](#)



【ワクチンボランティア 最高の日】

Steven Sanbo氏(第6690地区パストガバナー)の記事がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

私が思い出すのは、何百人もの人びとの顔。希望、安堵、感謝、恐怖、喜び、興奮、絶望、不安、そして涙。マスクの裏に隠されたこれらはすべて、2月にアリゾナの集団予防接種センターで目の当たりにしたことです。

何百人もの、これほど多くの感情が浮き出た顔を見るのは、2014年、貿易学校を開くためにロータリーでグアテマラを訪れたとき以来です。活動現地付近でマグニチュード7.4の地震が発生し、村人たちは、支援、食料、水、シェルターを求め、行方不明の家族のための希望を必要としていました。私とほか2人のロータリアンは、シェルターボックスを出動させるボランティアとなり、希望に応えるために活動したことを覚えています。

記事の続きは[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)
[組織規定](#)
[管理委員会の決定](#)
[ロータリーのプライバシーの方針](#)
[EU一般データ保護規則\(GDPR\)について](#)

<資料>

[財務報告](#)
[年次報告\(オンライン版\)](#)
[携帯用カード](#)
[ロータリー財団参照ガイド](#)
[地区ロータリー財団委員会要覧](#)
[地区ロータリー財団セミナーの手引](#)
 (zip)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

寄付・認証

【DDFの寄贈】

2020-21年度のDDF寄贈は、2021年6月30日までにお手続きをお願いいたします。7月1日以降に2020-21年度のDDF寄贈はできませんので、ご注意ください。皆様からの大きなご支援に心より御礼申し上げます。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#) (オンライン手続き)

後日、手続き完了のメールが届きますので必ずご確認ください。数日経ってもメールが来ない場合は、財団室(RLJPNTRF@rotary.org)までお知らせください。

DDFの状況確認 「地区の利用可能なDDF」レポート

≪[My ROTARY](#) にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の青文字「レポートを見る」をクリック→「地区で利用可能なDDF」をクリック→閲覧したい年度をダブルクリックし、「OK」をクリック→レポートが表示されます≫



財団室NEWS7月号

【寄付の締め切り】

年度内のご寄付は、2021年6月30日(水)までに着金し、不備の無い寄付送金明細書が日本事務局に到着している必要があります。

送っていただいた寄付送金明細書の内容に不備があり、寄付者やクラブの担当者へ確認が取れない場合は、手続きが完了せず次年度のご寄付となる可能性がございますのでご注意ください。

なお、オンライン寄付も6月30日までの寄付が年度内の寄付になります。早めのご対応をお願いいたします。

認証品の発送の遅延

新型コロナウイルスの感染拡大と業務への影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送までお時間をいただいております。ご迷惑をおかけしており大変申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

【年次基金寄付ゼロクラブ】

新型コロナウイルス感染拡大により、クラブの取り組みや会員の皆様の生活へ大きな影響がある中でも、今年度もロータリーを支えるための寄付をお寄せいただき誠にありがとうございました。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2021年6月28日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	0	2620	0	2740	0
2510	0	2630	0	2750	2
2520	0	2640	3	2760	0
2530	0	2650	0	2770	0
2540	1	2660	0	2780	0
2550	0	2670	0	2790	1
2560	0	2680	0	2800	0
2570	0	2690	1	2820	0
2580	0	2700	0	2830	0
2590	0	2710	0	2840	0
2600	0	2720	0	合計	8
2610	0	2730	0		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は「月次寄付レポート」をご参照ください。

※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

≪[My ROTARY](#) にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート≫

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

- [パワーポイント](#)
- [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

※2021年6月30日までは、WFからの組み合わせは同額です。上限額は1,000万ドルになります。

- [DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。



ポリオプラス

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2021年 1月1日～ 6月22日	2020	2019	2018
常在国	パキスタン	1	84	147	12
	アフガニスタン	1	56	29	21
世界合計		2	140	176	33

【残る課題に焦点を当てた新たなポリオ根絶戦略】

世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体は、ポリオ根絶における残された課題に打ち勝つために「ポリオ根絶戦略2022-2026:約束を果たすために」を開始しました。課題には、新型コロナウイルス流行により予防接種キャンペーンが一時休止されたことによる今年のポリオ発症数増加などが含まれます。野生型ポリオウイルスが残る最後の常在国であるパキスタンとアフガニスタンのリーダーは、GPEIと協力して予防接種キャンペーンを改善し、感染リスクの高い子どもへの予防接種を行うことを約束しました。地球のどこかにポリオが存在する限り、その脅威は引き続き世界全体に及びます。 [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

ロータリー平和センター

【第19回ロータリー平和センター 年次セミナー】

6月19日(土)にオンラインによるロータリー平和センターに関連するセミナーが行われました。

午前中には、ホストエリアコーディネーター水野功様の主催によるロータリー平和センターセミナーが、開催され、プログラムの今後や現状についての発表が行われました。エバンストンの本部の、学友担当スペシャリストのビル・リンツは、[ロータリー平和フェロー学友の組織\(RPFPA\)](#)による、[Global Peace Conference](#)と日程が重なったため、ビデオでのプレゼンテーションによる参加となりました。

午後には、[ロータリー平和センターの一つである国際基督教大学\(ICU\)](#)で学んだ第18期生10名のロータリー平和フェローによる研究発表を行う年次セミナーが、開催されました。初のオンラインによる開催となりましたが、海外や遠方からの参加者も含め、150名の登録があったということです。会場からは盛んに質問も寄せられ、フェローが取り組んできた様々なアプローチでの平和の実現に向けた活動を共有し、卒業するフェローの旅立ちをたたえました。

年次セミナーの動画については、後HICUのロータリー平和センターのウェブサイトに掲載される予定とのことです。

<https://rotaryicu.wordpress.com/category/annual-seminar/>

※日本語版・英語版

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)
[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)
[補助金による旅行](#)
[トラベルバンリスト](#)
[グローバル補助金ガイド](#)
[地域社会調査の結果フォーム](#)
[地域調査の方法](#)
[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)
[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)
[ロータリーショーケース](#)
[プロジェクトフェア](#)
[補助金担当職員一覧](#)
[重点分野の担当職員](#)
[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)
[補助金センターのご利用ガイド](#)
[グローバル補助金申請のテンプレート](#)
[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)
[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)
[ロータリー平和フェローシップ](#)
[ロータリーの学友](#)
[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<資格認定>

[地区の覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)
[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)
[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

補助金

【補助金の承認・支払い一時停止について】

7月より、ロータリーは、業務のスリム化と運営の効率向上を目的として、新しい財務管理システムに移行いたします。これにより、以下の影響が生じることとなります。

- 6月18日～7月19日まで、補助金の支払いが一時停止されます。
 - 6月25日～7月19日まで、補助金の承認が一時停止されます。
- ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。(期間中も申請書、報告書の提出は可能です。)

【旅行、交通費を含むプロジェクトについて】

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響から、補助金を利用した国内外の旅行は9月30日まで認められておりません。そのため補助金承認後も9月30日まで旅行や交通費を含むプロジェクトは実施することはできず(奨学金プロジェクトは可能)、9月30日以降は状況次第となりますことご留意ください。(旅費、交通費に補助金を利用しない場合は、実施可能です。各国や自治体の案内もご確認ください。)

My ROTARY「[ロータリーの費用による旅行](#)」もご参照ください。

また、国により、日本からの入国制限や入国後の行動制限などの措置が取られる場合もありますので、[外務省のホームページ「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限」](#)や受け入れ地区やクラブ、留学先の大学、協力団体などからの情報もよくご確認ください。

【インパクトを測ることはなぜ大切なのか】

ローターアクトとRYLA学友が結成したEクラブ「Rotary Social Impact Network (RSIN)」は、設立当初から奉仕活動においてデータ重視のアプローチを取ってきました。

加盟認証後の最初のプロジェクト「Plastic Free July」では、プラスチックごみに関する認識向上キャンペーンを実施。データでプラスチック使用量を計算し、プラスチックごみの少ない生活様式を促進することが狙いでした。クラブはまず、オンラインの環境インパクト計算機を使って各会員が一日に使うプラスチックの量を調べ、これを基準値としました。各会員が生活様式を切り替える努力をし、プロジェクトの終わりにもう一度計算して成果を確認しました。記事の続きは[こちら](#)

【プロジェクト立案のヒント】

[水と衛生の課題に取り組むロータリー行動グループに関する記事](#)がロータリーボイスに掲載されました。

インドネシア、ジンバブエ、エチオピアでの水に関連するプロジェクトの立案にあたり、ロータリアンは、水と衛生(WASH)のロータリー行動グループに連絡を取りました。このグループは、水と衛生に関する専門的知識と豊かな経験をもつロータリアンで構成されています。結果として、3名のロータリアンは数日以内に必要とする情報を得ることができました。

このグループは、補助金申請の事前相談(英語)などにも対応しています。詳細は[こちら](#)

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)

[My ROTARY 写真&動画](#)

[Rotary Video\(日本語\)](#)

[ロータリーの動画\(vimeo\)](#)

[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

7月1日	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会
8月2日	大規模プログラム補助金 コンセプトノートの提出締め切り
9月13～14日	ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)
9月15日	2022-23年度の地区研修リーダーのためのセミナー(DTS)
12月5日	第50回ロータリー研究会
6日	財団地域セミナー
7～8日	メジャードナー午餐会 GETS・GNTS 他 ロータリー研究会

国際ロータリー日本事務局財団室

〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28

三田国際ビル 24階

Email: RLJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405

【大規模プログラム補助金】

現在、2021-22年度大規模プログラム補助金のコンセプトノート(プログラムの大筋)を受け付けています。提出期限：2021年8月2日(シカゴ夏時間)

申請に関心のある方は、まず「リソース&参考資料」セクションにある[大規模プログラム補助金ハンドブック](#)をダウンロードしてお読みください。プログラムから代表者1名(会員)が[Embarkを通じてコンセプトノートを提出](#)します。申請書と関連文書はすべて、英語のみで受け付けています。

詳細は[こちら](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。

2021年5月28日~6月24日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2610	七尾	神野 正博	2840	沼田中央	生方 彰
2620	甲府	野口 英一	2840	沼田中央	山田 晃
2770	幸手	梨本 松男	2690	岡山西	菊池 捷男
2790	成田	平山 秀樹	2590	横浜鶴見北	藤林 豊明
2690	岡山南	伊澤 正信	計 10名(匿名含む)		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

ご挨拶

第2地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー 野口 英一

2度のエバンストンでの研修を経験し、会員諸兄から「君とは握手しない」「また寄付か」「E/MGA ってなに」等々揶揄され3年が経ちました。苦手意識があったロータリー財団に関わる事が出来たのは感謝です。思い出深いのは、2019年神戸でのメジャードナー午餐会・AKS 入会式を責任者として開催したこと。ホストの姫路ロータリークラブの皆様をはじめ、多くの方々のご協力のもと無事終了できました。

任期満了と思いきや、7つ目の重点分野である「環境」のための大口寄付推進計画委員会(Environment・MGI)の委員に就任します。これからも皆様にご支援の懇請を続けますが、何卒宜しくお願い申し上げます。3年間ありがとうございました。

第2地域 ポリオ根絶コーディネーター 宮坂 宥洪

国際ロータリーの最優先課題とされているポリオ根絶に関わるEPNCという大役を拝命しながら一体今まで何をしてきたのかと3年間を振り返って反省することしきりです。一方、ロータリーの地域リーダーの一員として各種のセミナーやイベントに参加できたことは有難く、そのすべてが貴重な体験であったと感謝しています。とりわけ、2021年2月17日にホルガー・クナークRI 会長とのバーチャルミーティングの際に発表する機会が与えられたことは思い出に残る出来事でした。ポリオプラスにロータリー財団から巨額の資金が支出されているにも拘わらず、目前に迫っているポリオ根絶に関するロータリーの貢献について、世界でも日本でも、ほとんど報道されることなく、一般に周知されていないのはなぜか。これほどの支出も世界規模のポリオ根絶運動のなかではたいした評価の対象にならないということなのでしょうかとという質問したのですが、たしか「本当にそうですね」という返答をいただきました。

第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 田村 泰三

RRFCとして3年間ありがとうございました。これまで、RRFCとしてロータリーを理解するうえでもその良さを知る上でも最も有効な補助金の利用を推進してきました。現在の制度となってから補助金への関心は高まり、10年弱の期間に2倍に増加しました。次年度からは資金モデルの見直しがされることになりましたが、補助金の利用が抑制されかねないことを心配しています。日本のロータリアンには、補助金プロジェクトのすばらしさを経験され、同時にその資金源となる財団への寄付金への支援を増加していただくことをお願いいたします。

また、DDFは補助金のほかにポリオ根絶、平和フェロウシップ、WFなどに寄贈することができます。寄付金が有効に活用されているためには、多くの残金が生じることは避けなければなりません。コロナ禍において、ポリオ根絶の費用が不足していることから、特にポリオ根絶への寄贈を追加していただくことをご検討いただきたいと思います。

第3地域 ポリオ根絶コーディネーター 松本 祐二

私がポリオ根絶コーディネーターになったのは2015年7月でした。2018年が根絶という計画の最中でした。ポリオの発生数も減少し2020年にはアフリカ大陸での根絶も宣言されました。15年当時は日本のロータリアンの一人当たりのポリオプラスへの寄付額は20ドル程度でしたが、昨年度は目標の30ドルを超えるところまでご協力をいただき、今年野生型での発生数は2症例です。一気にゴールを駆け抜けましょう。ご協力ありがとうございました。

2020-21年度も、大変お世話になりました。新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の拡大により、昨年度に続き様々な活動に影響のあった年度となりました。見通しのつかない難しい状況の中でも、あたたかいご寄付、ご支援を継続してくださった皆様に心より御礼申し上げます。

2021-22年度が皆様にとって、明るく幸多き一年となりますよう、心からお祈り致します。

日本事務局 財団室

ロータリー財団 2020-21年度 5月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,180	94.40	205,798.18	41,953.32	84,000.00	6,300.94	338,052.44	82%
2510	2,482	127.03	315,286.83	36,174.97	28,000.00	10,779.34	390,241.14	108%
2520	2,143	79.81	171,024.55	13,575.24	1,100.00	10,500.00	196,199.79	99%
2530	2,207	127.54	281,489.58	33,853.42	19,108.99	1,050.00	335,501.99	117%
2540	1,119	80.06	89,583.04	2,685.38			92,268.42	132%
2550	1,697	144.68	245,522.49	32,394.95	39,136.22	3,675.00	320,728.66	72%
2560	2,064	121.41	250,594.14	39,230.26	1,501.00	8,925.00	300,250.40	68%
2570	1,557	140.83	219,275.24	64,300.32	43,875.00		327,450.56	95%
2580	2,867	166.02	475,980.99	79,525.86	250,773.17	50,715.00	856,995.02	112%
2590	1,930	160.85	310,436.56	56,372.77	71,038.10		437,847.43	99%
2600	1,903	163.57	311,274.43	54,618.86	19,995.65		385,888.94	102%
2610	2,549	108.40	276,322.51	21,853.02	6,132.81		304,308.34	97%
2620	2,862	125.73	359,825.28	55,557.04	81,256.15	4,200.00	500,838.47	95%
2630	3,090	128.29	396,411.98	53,911.30	48,059.79	10,962.22	509,345.29	89%
2640	1,700	127.81	217,279.60	21,919.06	37,823.41	12,915.00	289,937.07	117%
2650	4,435	168.11	745,567.25	126,717.59	50,508.45	17,826.84	940,620.13	90%
2660	3,554	166.15	590,482.08	186,502.10	76,854.94	18,169.17	872,008.29	78%
2670	2,927	90.97	266,271.37	39,068.45	12,094.34	2,100.00	319,534.16	90%
2680	2,656	108.99	289,465.18	52,469.19	107,288.44	21,145.94	470,368.75	65%
2690	2,980	144.09	429,387.09	89,062.17	74,972.50	35,700.00	629,121.76	101%
2700	3,073	101.72	312,586.94	25,600.00			338,186.94	106%
2710	3,157	123.55	390,058.12	85,900.90	74,072.62	3,360.00	553,391.64	95%
2720	2,354	95.51	224,826.98	25,434.28	9,617.23		259,878.49	91%
2730	2,355	76.45	180,034.88	24,363.33	15,878.11	1,050.00	221,326.32	105%
2740	2,112	74.08	156,452.67	41,066.75	7,448.62	1,050.00	206,018.04	117%
2750	4,631	184.34	853,695.20	188,528.85	280,951.81	16,422.13	1,339,597.99	116%
2760	4,741	157.93	748,751.86	149,823.14	64,032.44	5,250.00	967,857.44	77%
2770	2,415	198.17	478,578.00	115,638.22	87,208.10	8,400.00	689,824.32	90%
2780	2,286	165.50	378,326.25	73,038.32	25,716.09	21,658.35	498,739.01	91%
2790	2,733	142.74	390,097.16	52,794.76	66,034.73	7,681.00	516,607.65	103%
2800	1,531	105.63	161,721.45	8,061.96	10,150.00		179,933.41	118%
2820	1,881	153.34	288,434.82	46,657.81	41,869.53	2,100.00	379,062.16	98%
2830	1,114	120.92	134,702.52	22,556.43	4,000.00		161,258.95	92%
2840	2,081	135.81	282,626.45	65,848.15	19,603.27		368,077.87	95%
日本	85,366	133.87	11,428,171.67	2,027,058.17	1,760,101.51	281,935.93	15,497,267.28	93%
世界	1,174,866	95.81	112,566,754.06	24,912,476.69	28,908,169.56	27,816,153.51	194,203,553.82	
日本の割合	7.27%	-	10.15%	8.14%	6.09%	1.01%	7.98%	



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリーゾーン1A,2&3
第50回
ロータリー研究会

50th Anniversary



TRF管理委員(2018-22)
ユン・サンクー
新漢陽RC



RI会長(2021-22)
シェカール・メータ
カルカッタ マハナジャRC

〈招集者〉



RI理事(2020-22)
辰野克彦
東京西RC

2021 12/5(日)6(月)7(火)8(水)

メルパルクホール / ザ・オークラ東京
JPタワー ホール&カンファレンス

状況により、RI会長、TRF管理委員が来日出来ない可能性があります。

2021-22年度 国際ロータリーゾーン1A.2&3

第50回 ロータリー研究会

12/5(日)

<会場> JPタワー ホール&カンファレンス
ロータリー財団地域セミナー

12/6(月)

<会場> JPタワー ホール&カンファレンス
GETS、GNTS、規定審議会代表議員研修

<会場> ザ・オークラ東京
メジャードナー午餐会、ガバナー会議、
ロータリー日本財団理事会、RI理事諮問委員会
RI会長ご夫妻歓迎晩餐会

12/7(火) 研究会 第1日目

<会場> メルパルクホール

- 08:00~09:00 登録
- 09:00~09:40 開会式・点鐘
- 09:40~10:40 RI報告
- 10:40~11:00 休憩
- 11:00~11:45 ロータリー財団及び関連報告、
ロータリー米山記念奨学会報告
- 11:45~13:00 昼食
- 12:55~13:30 基調講演
シェカール・メータRI会長
輝く未来を創る
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES」仮題
- 13:30~14:50 パネルディスカッション / 第1セッション
輝く未来を創る
「奉仕の仲間を増やして会員基盤を広げよう」仮題
- 14:50~15:10 休憩(コーヒーブレイク)
- 15:10~15:15 健康体操
- 15:15~15:25 講演 ユン・サンク
ロータリー財団管理委員 尹商求(新漢陽)
輝く未来を創る
「ロータリー財団と7つの重点分野」仮題
- 15:25~16:45 パネルディスカッション / 第2セッション
輝く未来を創る
「ロータリー財団 7つの重点分野を考える」仮題
- 16:45~16:50 諸事お知らせ

<会場> 東京會館本館2階ローズルーム
18:30~20:30 第50回記念祝賀会

12/8(水) 研究会 第2日目

<会場> メルパルクホール

- 08:00~09:00 登録
各クラブ会長・各ローターアクトクラブ会長参加可
(リアル参加もZoom参加も可)
- 09:00~09:20 ビデオ上映
「日本のロータリー100年の歩み そして未来へ」
- 09:20~10:40 規定審議会(COL)報告とディスカッション
「規定審議会(COL)について考える」
- 10:40~12:00 パネルディスカッション / 第3セッション
輝く未来を創る
「ロータリーの未来像を考える
これまでのロータリーとこれからのロータリー」仮題
- 12:00~13:15 休憩・昼食
- 13:15~14:15 オープン・フォーラム
RI会長への質疑応答
- 14:15~14:20 国際大会のご案内
- 14:20~14:30 閉会式
- 14:30~15:00 【一般参加講演会】
研究会登録者
(リアル参加)
ロータリアン及び一般登録
(リアル参加なし、オンラインのみ)
- 15:00~15:02 ビデオ映像
「ロータリーについて—公共イメージ向上—」
- 15:02~15:05 ご挨拶
- 15:05~16:30 講演
福岡 伸一氏(青山学院大学 教授)
「—コロナ危機を乗り越えて—
人類とウイルスとの闘い」仮題

※プログラムの内容は変更させていただく可能性がございます

メルパルクホール 〒105-8582 東京都港区芝公園2-5-20
TEL: 03-3433-7211 <https://www.mielparque.jp/tokyo/>

ザ・オークラ東京 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4
TEL: 03-3582-0111 <https://theokuratokyo.jp/>

JPタワー
ホール&カンファレンス 〒100-7004 東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE 4.5階
TEL: 03-5222-1800 <https://www.jptower-hall.jp/>

東京會館 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-1
TEL 03-3215-2111 <https://www.kaikan.co.jp/>

研究会登録料 1人 30,000円
パートナー 20,000円

歓迎晩餐会参加費 1人 25,000円

第50回記念祝賀会
参加料 1人 20,000円

第50回 ロータリー研究会事務局
E-mail : rotary.institute50@gmail.com

会員動向

《 2021年5月 》

【入会者】



高木 雄平
(黒石)
5月6日入会



江里口 和雅
(青森)
5月20日入会

大西 透信
(青森)
5月20日入会



永澤 信
(八戸)
5月19日入会



太田 竜介
(八戸中央)
5月10日入会

【退会者一覧】

クラブ名	氏名	退会日
青森	小野 和寿	5月31日
八戸中央	中村 勉	5月24日

【ご逝去会員】 謹んでご冥福をお祈りいたします。



高橋 竹美（青森北東）
5月23日ご逝去

【ロータリー財団寄付】



円子 徳通
（おいらせ）
PHF



花田 勝彦
（五所川原）
PHF+3



新田 淳也
（八戸中央）
PHF+2

【米山記念奨学会寄付】

<米山功労者>



中村 俊明
（おいらせ）
第1回



源新 和彦
（八戸北）
第5回
マルチプル



小金平 育男
（八戸北）
第1回

2021年5月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ	2	70.00	53	0	0	53	2	44	11	2	22.64
	むつ大畑R衛星											
	野辺地	3	93.00	15	0	0	15	2	16	0	1	100.00
	七戸	2	67.50	12	0	0	12	2	13	0	1	41.67
	大畑			0			0	0	7	0	7	
	東北	3	60.00	16	0	0	16	2	15	1	0	93.75
	むつ中央	3	61.00	23	0	0	23	0	24	0	1	13.04
六ヶ所	3	66.00	30	0	0	30	0	32	1	3	37.04	
	7クラブ小計			149	0	0	149	8	151	13	15	
東第二グループ	三沢	1	45.50	24	0	0	24	0	25	1	2	37.50
	十和田	3	83.00	36	0	0	36	8	35	1	0	27.78
	十和田東	4	87.00	27	0	0	27	2	27	1	1	51.85
	おいらせ	3	62.00	9	0	0	9	1	9	0	0	44.44
	三沢東	2	71.50	36	0	0	36	5	36	0	0	33.33
	十和田八甲	3	87.76	88	0	0	88	3	82	9	3	31.82
	6クラブ小計			220	0	0	220	19	214	12	6	
西第一グループ	五所川原	3	57.53	54	0	0	54	6	54	1	1	66.67
	金木	3	78.00	13	0	0	13	2	12	1	0	7.69
	鱒ヶ沢	2	64.20	14	0	0	14	2	14	0	0	35.71
	鶴田	3	58.33	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	67.23	29	0	0	29	1	29	1	1	37.93
	つがる	3	68.81	31	0	0	31	0	30	1	0	25.81
	五所川原イヴニング	2	43.30	30	0	0	30	7	29	1	0	46.67
	7クラブ小計			179	0	0	179	19	176	5	2	
西第二グループ	弘前	4	76.60	47	0	0	47	3	45	4	2	38.30
	弘前東	3	83.30	9	0	0	9	3	9	0	0	55.56
	板柳	1	100.00	12	0	0	12	0	12	0	0	33.33
	黒石	4	73.00	19	1	0	20	3	18	2	0	65.00
	大鱧	3	75.00	10	0	0	10	0	9	1	0	30.00
	弘前西	2	100.00	28	0	0	28	3	30	0	2	75.00
	平賀・尾上	0		12	0	0	12	0	12	0	0	25.00
	弘前アップル	2	30.00	22	0	0	22	3	22	0	0	63.64
	8クラブ小計			159	1	0	160	15	157	7	4	
中グループ	青森	2	100.00	88	2	1	89	5	84	14	9	74.44
	青森北東	2	73.90	26	0	1	25	3	26	1	2	68.00
	青森中央	2	71.40	7	0	0	7	1	7	0	0	42.86
	青森モーニング	2	59.50	21	0	0	21	2	20	1	0	47.62
	4クラブ小計			142	2	2	142	11	137	16	11	
南グループ	八戸	4	78.20	60	1	1	60	0	60	5	5	45.00
	八戸東	4	100.00	50	0	0	50	0	51	2	3	60.00
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	0	11	0	2	100.00
	五戸	3	72.70	11	0	0	11	0	14	0	3	63.64
	南部	2	95.00	10	0	0	10	0	10	0	0	50.00
	八戸北	3	61.30	43	0	0	43	10	41	2	0	45.34
	八戸南	3	79.10	35	0	0	35	1	33	2	0	82.86
	八戸中央	4	55.00	22	1	1	22	5	22	1	1	47.83
	八戸西	0		35	0	0	35	18	33	3	1	41.67
	9クラブ小計			275	2	2	275	34	275	15	15	
	合計			1,124	5	4	1,125	106	1,110	68	53	

期首会員数は2020年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,117名です
5月末現在の入退会人数です

地区行事予定

2021年7月

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	(Zoom+YouTube)
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	(対面+Zoom)
5	(月)		
6	(火)		
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)		
12	(月)		
13	(火)	ガバナー公式訪問 八戸北RC	八戸プラザホテル
14	(水)		
15	(木)	ガバナー公式訪問 三沢東RC	きざん三沢
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)		
19	(月)	ガバナー公式訪問 青森中央RC	ホテル青森
20	(火)	ガバナー公式訪問 十和田RC	十和田倶楽部
21	(水)	ガバナー公式訪問 おいらせRC	レストランカワヨグリーンロッヂ
22	(木)	海の日	
23	(金)	スポーツの日	
24	(土)		
25	(日)		
26	(月)	ガバナー公式訪問 弘前RC	ホテルニューキャッスル
27	(火)	ガバナー公式訪問 板柳RC	板柳町商工会
28	(水)	ガバナー公式訪問 五所川原RC	ホテルサンルート五所川原
29	(木)	ガバナー公式訪問 八戸南RC	八戸パークホテル
30	(金)		
31	(土)	地区ロータリー財団セミナー	Zoom

地区行事予定

2021年8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(日)		
2	(月)	ガバナー公式訪問 鶴田RC	鶴田町役場国際交流会館
3	(火)	ガバナー公式訪問 野辺地RC	野坂ビル2F
4	(水)		
5	(木)	ガバナー公式訪問 八戸西RC	きざん八戸
6	(金)		
7	(土)		
8	(日)	山の日	
9	(月)	振替休日	
10	(火)	ガバナー公式訪問 つがるRC	つがる市森田農村環境改善センター
11	(水)	ガバナー公式訪問 青森北東RC	ホテル青森
12	(木)		
13	(金)		
14	(土)		
15	(日)		
16	(月)		
17	(火)		
18	(水)		
19	(木)	ガバナー公式訪問 七戸RC ガバナー公式訪問 三戸RC	七戸商店会協同組合 2F 田岩本店
20	(金)		
21	(土)		
22	(日)		
23	(月)	ガバナー公式訪問 弘前アップルRC	弘前総合学習センター
24	(火)	ガバナー公式訪問 平賀・尾上RC	南田温泉ホテルアップルランド
25	(水)		
26	(木)	ガバナー公式訪問 弘前西RC ガバナー公式訪問 鱒ヶ沢RC	ホテルニューキャッスル 水軍の宿
27	(金)		
28	(土)		
29	(日)		
30	(月)	ガバナー公式訪問 八戸中央RC	八戸プラザホテル
31	(火)	ガバナー公式訪問 三沢RC	きざん三沢